



鹿児島日英協会 ニュースレター  
**The Japan British Society of  
 Kagoshima Newsletter**

第 17 号

No.17 September 2022

会長あいさつ ～ニュースレター第 17 号発行に寄せて～

鹿児島日英協会会長 島津公保

会員の皆様におかれましては、日頃から当協会の運営にご支援、ご協力をいただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。

我が国で最初のコロナ患者が発生してから 2 年半が過ぎました。コロナ禍がまだまだ収まらない状況が続いている中、皆様は如何お過ごしでしょうか。当協会の活動も制約の多い状況が続く、皆様と一緒にできる機会が少なくなっておりますこと残念に思っております。

70 年の長きにわたり英国の君主であられたエリザベス女王陛下がご逝去されました。会員の皆様と共に謹んでお悔やみ申し上げますと共に、心からご冥福をお祈り申し上げたいと思います。

奇しくも今年、英国においては、エリザベス女王陛下の在位 70 年のプラチナジュビリーとして、多くのお祝い行事が行われていました。英国国民はもとより、世界中の人々から敬愛されておられ、愛らしい上品な笑顔が大変印象的な方でした。今年、コロナウイルスに感染されたにも拘わらず、元気に回復されておられただけに残念でなりません。

振り返って、私どもの鹿児島日英協会は、平成 4 年 11 月 4 日に産声を上げました。初代の佐藤八郎会長はじめ歴代会長や会員の皆様のご努力下、日英の友好親善を図るため様々な活動を続け、今年で丁度、30 年となりました。皆様のご支援に深く感謝申し上げます。

当協会では、これまで 5 名の駐日英国大使をお招きし、交流を続けてきました。今年はコロナ禍ではありますが、30 周年の記念の年でもあり、現ジュリア・ロングボトム大使をお招きしたいと大使館にお願いをしておりました。この度、私どもの総会に合わせて、ご来鹿いただくこととなり、大変うれしく思っているところです。皆様と一緒に大使との交流を深めることが出来ればと思っております。

また、今年で第 6 回目となったエッセイコンテストは、高校生を中心に大学生、一般の方から多数の応募をいただきました。今年はこれまで以上にフレッシュな感覚で書かれた作品が多く、受賞者の選考にも苦勞したところでした。総会で受賞者を発表しますので、楽しみにお待ちしております。

これからも、日英の交流に資する活動を続けて参ります。皆様の変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。

目次

① 令和 3 年度 第 2 回鹿児島日英協会理事会のご報告	・・・P.2
② 令和 3 年度の事業報告	・・・P.2
③ 令和 4 年度のイベント予定	・・・P.2
④ 東郷銀杏について 報告とお願い	・・・P.3
⑤ 協会 HP バナー広告募集について	・・・P.3
⑥ イギリスひとくちメモ	・・・P.4

## ① 令和3年度 第2回 鹿児島日英協会理事会のご報告

日時：令和3年3月21日（祝月）

会場：ホテルレクストン鹿児島  
（鹿児島市山之口町4-20）

上記日時・会場で令和3年度第2回鹿児島日英協会理事会が開催され、当協会の事業内容確認とプロジェクト等における中間報告・決算中間報告をいたしました。また、オフィスフィールドノート代表砂田光紀様を講師にお招きして、「コロナ禍における英国の現状とインバウンドへの取り組み」という演題でご講演いただきました。



←理事会の様子

↓講演会の様子



## ② 令和3年度下半期（令和4年3月以降）事業報告

（コロナウイルス拡大防止のため、中止・延期となった事業があります。）

1. 第3回 Pub Quiz（青年部主催） 3月企画 再延期
2. 青年部ミーティング（青年部主催） 6月11日（土）
3. 第6回エッセイコンテスト 7月末締切 9月末審査 実施済み。

（写真は2022年9月11日（日）審査会本選の様子）



4. マルメンカルテット鑑賞会（協会後援） 中止
5. イギリス視察旅行（仮） 延期。実施日程未定

## ③ 令和4年度のイベント予定（コロナウイルス感染状況により、中止・延期となる場合があります。）

1. 鹿児島日英協会第31回総会 2022年10月23日（日）  
第6回エッセイコンテスト表彰式
2. 令和4年度第1回理事会 2022年10月23日（日）
3. 講演会 2022年10月23日（日）  
講師：ジュリア・ロングボトム駐日英国大使
4. 県主催薩摩スチューデント派遣事業の報告会 2022年12月 予定
5. 第3回 Pub Quiz（青年部主催） 実施時期未定
6. 令和4年度第2回理事会 2023年3月21日（祝火） 予定

- 7. 英国関係者講演 実施時期未定
- 8. イギリス視察旅行（仮） 実施時期未定
- 9. 映画観賞会等 実施時期未定

#### ④ 東郷銀杏 協力金は随時受け付けております。

##### ・東郷平八郎ゆかりの銀杏の木 帰郷プロジェクトとは（2019年12月29日 産経新聞掲載記事より）

英国ウェールズで明治初期に建造された日本海軍の軍艦、初代「比叡」（コルベット艦）への謝意として明治政府が英国に寄贈し、大木に育った銀杏（いちろう）の苗木約15株が24日、日本に“帰郷”し、栽培育成したウェールズ国立植物公園から広島市植物公園に届けられた。英ペンブローックで1877年行われた比叡の進水式で、上野景範（かげのり）駐英特命全権公使らが銀杏を英国側に寄贈。留学生だった東郷平八郎が鱗装（ぎそう）員として滞在した英海軍官舎の庭に植えた。東郷が帰国し、日本海海戦でロシアを破る大活躍をしたため、地元では「東郷ゆかりの銀杏」と語り継がれてきた。地元郷土史家、デービッド・ジェームズさん（81）は、「銀杏を日英友好のシンボルとして帰郷させたい」とプロジェクトを始め、依頼を受けたウェールズ国立植物園は、無償で「挿し木」の技術で苗木約15株を育てた。旧軍港都市の広島県呉市の新原芳明市長のコメントを同市文化スポーツ部の神垣進部長が代読し、「今年から来年は呉鎮守府が開庁して130周年。植樹にふさわしい年の帰還を祝いたい。日英友好の歴史の証人として、長く引き継いでいきたい」と述べた。苗木は日本郵船関連会社の郵船ロジスティクスが無償で空輸し、同植物公園が日本の土壤に順応、養生させた後、来年4月末から5月、呉市、京都府舞鶴市、長崎県佐世保市、神奈川県横須賀市のほか東郷元帥の出身地、鹿児島市や東郷神社（東京都渋谷区）などに移送される。

##### ・鹿児島における植樹式 2020年11月22日（日）

鹿児島市の多賀山公園にて当時の森博幸市長の出席のもと、鹿児島日英協会主催で植樹式が行われました。



植樹式当日の苗木



2021年9月末の苗木の様子。



2022年9月中ごろの苗木の様子。

#### ● みなさまからのご厚意による協力金は、今後東郷銀杏の維持管理費用及び周年行事等への費用として使わせていただきます。手順は以下の通りです。

##### 1. 指定口座へ寄付金のお振込み 【お振込み先指定口座】

ゆうちょ銀行 01770-0-67480

鹿児島銀行 伊敷支店 普通 3007776 鹿児島日英協会事務局

南日本銀行 伊敷支店 普通 1092847 鹿児島日英協会事務局

##### 2. 鹿児島日英協会へ協力金ご送金の旨メールにてご連絡ください。

#### ⑤ 協会HPのバナー広告を優先してご紹介いたします。

令和3年度事業として報告いたしましたが、鹿児島日英協会のホームページをリニューアルしました。それに伴い会員様を優先して、当協会HP上でのバナー広告を募集いたします。皆様の企業情報などを日本国内の日英協会など国内外の関係者に発信されません。

各バナーにつき1年契約(契約後は自動更新可)で3万円(税込)となります。ご入用の際は事務局にお尋ねください。



<http://jbsk.jp/>



## ⑥ イギリスひとくちメモ

### ミステリーとイギリス

(文責：鹿児島日英協会理事・志学館大学名誉教授 酒瀬川 純行)

人は誰でも怪奇な現象、存在に魅かれる。イギリス人も例外ではない。古来、妖精や、魔女、幽霊、ハロウィーンの魑魅魍魎から、ネス湖の「ネッシー」やモラー湖の「モーラグ」(Morag)などの巨大な未確認動物 UMA までとイギリスの「ミステリー」も枚挙に遑がない。各地で行なわれている『ゴースト・ツアー』などは今でも人気のイベントだ。

実際に起きたミステリー事件もある。最もよく知られるのは 1888 年に起きた『切り裂きジャック事件』(Jack the Ripper Murders)だ。ロンドン East End の貧民街ホワイトチャペルで、少なくとも 5 人の娼婦が連続して殺害された。犯人についてはその手口の異常さ、切り裂きかたの正確さなどから医者や精神病患者から王室関係者まで様々な憶測が飛び交ったが、1 世紀以上経った今でも特定、逮捕には至らず、迷宮入りしたままだ。夕闇迫る頃合いから始まる犯行跡地を巡る『切り裂きジャック・ツアー』には毎回多くの人が集まる。

建造物のミステリーもある。イングランド南西ソールズベリー平原にある「ストーンヘンジ」(Stonehenge) もその一つだ。紀元前 2000 年前後に造られたこの巨石環状列石、今ではどうやら農耕用の天文歴として、又、放射性物質を放つ岩石を敷いたヒーリングの場として使われたというのが定説になりつつあるが、かつては『世界の七不思議』にも数えられていた。今では世界文化遺産の一つだ。ついでながら近くのグラストンベリー (Glastonbury) は龍脈『レイ・ライン』(ley line) 上にある spiritual spots の代表格だ。

一方、近年とみに注目を集めるようになったミステリーもある。一夜にして突如畑の穀物などをなぎ倒して現れるミステリー・サークル (英語では crop/corn circle) がそれだ。多くがいたずら (hoaxes) の産物のようなのだが 1980 年代に謎の現象として注目され、英国を中心に世界中で報告されている。

フィクションの世界でもミステリーは人々の心を大いに揺さぶってきた。シャーロックホームズの産みの親 Sir Arthur Conan Doyle、『タイムマシン』や『透明人間』などの著者で『SF の父』とも称される H.G. Wells、ブラウン神父シリーズで知られる G.K. Chesterton、フレンチ警部シリーズでも有名になった F.W. Crofts や『ミステリーの女王』Agatha Christie の推理小説はいまだに人気が高い。

科学技術の発展が目覚ましく、エヴィデンス提示が主流となった昨今では「ミステリー」も日に日にその居場所を失いつつあるような感も否めない。だが、一方では、世の中が科学万能へと進めば進むほど、人知を超えた森羅万象への畏怖、あるいは不可解な魅力ある存在・謎としての「ミステリー」への好奇と憧れ、想いも強まっているようにも思われる。



平原に佇む巨石環状列石 Stonehenge



ゴーストツアーの案内人と



ネス湖 (Loch Ness) と廃城 Urquhart Castle

★鹿児島日英協会 URL :

<http://jbsk.jp/>

★鹿児島日英協会青年部 Facebook :

Japan British Society of  
Kagoshima Youth Division



【鹿児島日英協会所在地】

〒892-0871

鹿児島市吉野町9700-1 (株式会社島津興業内)

TEL : 099-247-7000 (代表)

FAX : 099-247-9539

Email : jbskagoshima@yahoo.co.jp